

予算編成過程（一般会計）の公表について

1回目（当初要求時）
令和2年12月15日現在

令和3年度北広島市一般会計当初予算要求額の概要

- ・令和3年度の一般会計当初予算要求額は、歳入では約288億円、歳出では約320億円となっています。
- ・令和2年度当初予算と比較して歳出において約38億円（13.5%）の増加となっています。
- ・当初要求段階において、約32億円が収支不足となっています。

一般会計の歳入

（単位：百万円）

区分（「款」の名称）	令和2年度 当初予算額	令和3年度 当初要求額	比較	
				%
市 税	7,766	7,391	375	4.8
地方譲与税	226	210	16	7.1
利子割交付金	9	5	4	44.4
配当割交付金	15	14	1	6.7
株式等譲渡所得割交付金	9	9	0	0.0
法人事業税交付金	97	99	2	2.1
地方消費税交付金	1,642	1,398	244	14.9
ゴルフ場利用税交付金	190	190	0	0.0
環境性能割交付金	46	17	29	63.0
国有提供施設等所在市町村助成交付金	2	2	0	0.0
地方特例交付金	55	57	2	3.6
地方交付税	4,345	3,371	974	22.4
交通安全対策特別交付金	12	10	2	16.7
分担金及び負担金	96	83	13	13.5
使用料及び手数料	438	409	29	6.6
国庫支出金	6,063	6,930	867	14.3
道支出金	1,709	1,677	32	1.9
財産収入	44	319	275	625.0
寄附金	600	1,000	400	66.7
繰入金	331	0	331	100.0
繰越金	100	100	0	0.0
諸収入	942	554	388	41.2
市 債	3,441	4,958	1,517	44.1
合 計	28,178	28,803	625	2.2

歳入予算については、国や道の動向、翌年度の景気見通し等により変動します。国が発表する「地方財政計画」という地方財政の見通しも重要な指標となります。

予算要求は、ある程度見通しのつくものと、景気や経済情勢に左右され予測が難しいものがありますが、できる限り実際の収入に近づけるように見積もっています。

歳入の当初要求額は、令和3年度予算を編成するために推計した額で、これからの編成作業のなかで、事業費の精査や実施事業の決定により、国庫支出金、道支出金や市債などが変動していきます。

一般会計の歳出

(単位：百万円)

区分(「款」の名称)	令和2年度 当初予算額	令和3年度 当初要求額	比較	
				%
議会費	185	183	2	1.1
総務費	1,170	1,741	571	48.8
民生費	9,241	9,900	659	7.1
衛生費	1,276	1,416	140	11.0
農林水産業費	120	95	25	20.8
商工労働費	387	423	36	9.3
土木費	6,361	8,805	2,444	38.4
消防費	200	201	1	0.5
教育費	1,773	2,274	501	28.3
災害復旧費	1,009	276	733	72.6
公債費	2,356	2,491	135	5.7
諸支出金	60	59	1	1.7
職員費	4,000	4,076	76	1.9
予備費	40	50	10	25.0
合計	28,178	31,990	3,812	13.5

当初要求における収支不足額	3,187
---------------	-------

令和3年度の予算要求は、各部局において、各事業の見直しなどによる選択・重点化を行いながら、おおむね現在策定中の「2021推進計画」に沿った要求となっております。
 予算要求は、経常経費(管理的経費)と政策経費とに区分して行われており、今後、要求のあった内容について、査定を行っていきます。

予算編成過程の公表の時期

- 1回目(12月) 令和3年度当初予算要求の状況
- 2回目(1月) 経常経費・政策経費1次査定後
- 3回目(2月) 当初予算案の状況

今後は、税制改正・地方交付税など国の令和3年度予算編成の動向等を踏まえて、予算編成作業のなかで歳入・歳出それぞれを見直し、北広島市の令和3年度予算案を策定していきます。